

事業番号	15 04 02	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	視覚・聴覚障害児早期教育支援事業				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	特別支援教育課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実			E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
		5 すべての子どもの学びを保障する支援			実施期間	H25 ~		

1 事業の概要

目指す姿	視覚障害や聴覚障害のある乳幼児に対し、早期相談支援、早期教育ができる体制を整え、言語や社会性の発達を最大限に促す。					
現状	<p>○視覚障害・聴覚障害のある乳幼児に対しては、その障害特性から、ものの見方・聞き方・捉え方や人とのかかわり方などの言語や社会性の習得の土台となる部分の学習は、早ければ早い程効果があり、必要不可欠なものである。</p> <p>○視覚障害や聴覚障害のある乳幼児及び保護者に対して、専門的な知識及び技術を必要とする支援を行える体制が十分ではない。</p>					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】				
	県民との協働による実施：困難	・障害者自立支援法(都道府県の責務) ・教育基本法第十一条 ・学校教育法第二十四条				
事業内容	① 成果目標(H25)					
	○早期からの相談支援、教育対応を行う視覚・聴覚障害のある乳幼児の人数を50人とし、言語や社会性の発達を最大限に促す。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績			
			H25(当初)	H25(決算)	H26(当初)	
1 早期支援指導員配置	直接	・早期支援指導員の配置(4人) ・親子教室等による早期からの相談支援体制の構築		11,882	11,639	11,897
2 早期教育相談員配置	直接	・早期教育相談員の配置(4人) ・幼稚園、保育園等に在籍する幼児への通級による指導体制構築		14,213	13,859	14,242
		合計	26,095	25,498	26,139	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	18,576	18,958	26,095	26,139
	補正予算			-588	
	合計(A)	18,576	18,958	25,507	26,139
	国庫支出金				
	県債				
	その他(諸収入)	96	97	112	112
	一般財源	18,480	18,861	25,395	26,027
	決算額(B)	18,255	18,887	25,498	
概算人件費					
職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
概算人件費(C)	826	826	826	826	
概算事業費(B(A)+C)	19,081	19,713	26,324	26,965	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
早期対応人数	42人	50人	51人	達成	早期支援教室、幼児通級希望への対応100%

目標に対する成果の状況	・目標設定した乳幼児の対応人数は、達成したものの、対応人数は、その時々障がいを持った乳幼児の数に左右され数値目標として、馴染まないため、平成26年度目標は、当該教室への希望者への対応100%とした。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・現事業となって、2年経過したところであり、現行どおりの事業実施となるが、相談機能の強化など、より一層効果的な事業実施を目指す。